



天文学の扉を開こう

9月の夜空

火星の絶景

9月の火星は、夕方から宵にかけては南の空で輝き、深夜11時頃に南西の空に移り、未明1時ごろ西の空に沈みます。最接近の時と比べると、やや小さく暗くなりますが、早い時間帯で見やすい高さに昇ってくるので、ぐんま天文台の天体観望の時間帯(19時~22時)にぴったりはまります。まだ火星をご覧になっていない方は、ぜひぐんま天文台の大型望遠鏡で見てみてください。

さて、火星は直径が地球半分ほどの小さな惑星なのですが、太陽系でも指折りのスケールの大きな絶景があります。

最初の絶景は、オリンポス山(右図)です。太陽系最大の火山で、高さは約2万7千メートル、エベレスト山の3倍程度にもなります。山麓の直径も6百キロメートルあり、山というよりも巨大な台地といった姿をしています。また、山頂のカルデラは直径60~80キロメートル、深さ3.2キロメートルもあり、富士山がほぼ収まってしまうサイズです。

もう1つの絶景は、マリネリス峡谷(右図点線部)です。深さ7キロメートル、幅は最大2百キロメートル、長さ4千キロメートルもあり、火星の表面の4分の1近くに達する巨大な大地の割れ目です。このサイズは、日本列島よりも長く、地球のグランドキャニオンの10倍もの大きさに相当します。グランドキャニオンは川の流れが大地を削った跡ですが、マリネリス峡谷は地殻変動によって生まれたと考えられています。

私たちが観光旅行で火星に行けるようになるのは、ずっと先の未来ことでしょうか、この2つの絶景は人気の観光スポットになりそうですね。

ただ、あまりにもスケールが大きすぎるので、上空からの遊覧飛行をおすすめします。



9月のぐんま天文台のイベント

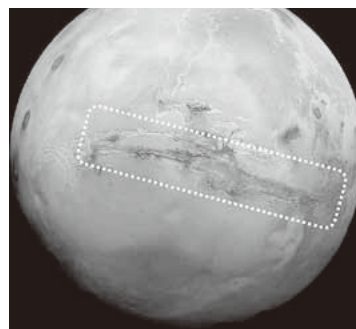
・22(土) たかやま観月会

○星図の説明

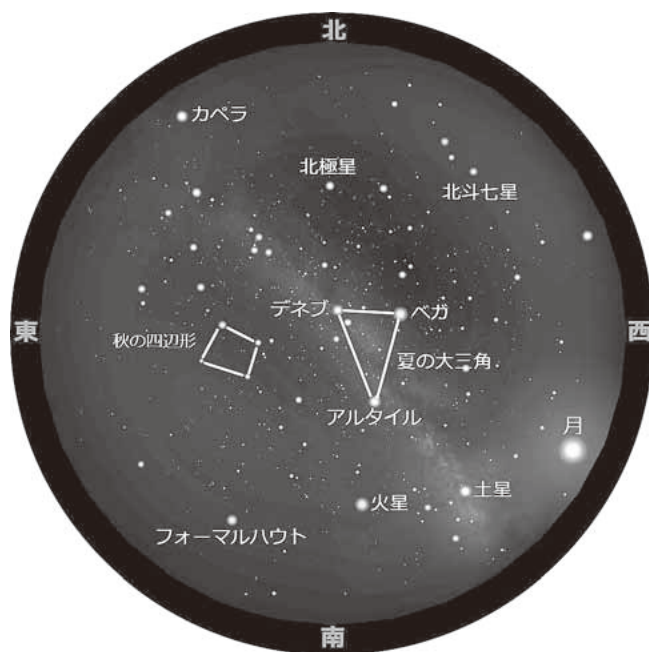
9月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります(「月」を除く)。



▲オリンポス山



▲マリネリス峡谷



大勢の人たちでにぎわった 第38回 高山村ふるさと祭り



夜のステージは
大盛況！



祝 いぶき太鼓結成25周年！！



司会のアンカンミンカンとキャラクター達で！！



自衛隊コーナーでかっこよく！



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしています(*^_^*) ☎26-7944(直通)



原 吉田 旭十くん(2歳)

僕の名前は「あきと」です。

朝日のような「温かい人になるように」「まっすぐ誠実に育ってほしい」と願いを込めて、両親に名付けてもらいました。

トラックやパワーショベルのおもちゃを使って、じい(おじいちゃん)のお仕事の真似をして遊ぶんだよ！あと、パパが日曜大工をしていると、一緒にやりたいからお手伝いするんだ！

アンパンマンが大好きだから、ママとアンパンマンの歌を歌って応援しているよ！

編集後記

高山村ふるさと祭りでは、村のPR動画で歌ってくださったJunFutamatasaさんが実際に高山村の歌を歌ってくださいました。澄んだ歌声に会場が癒やされるとも素敵な時間でした。(Z)

第25期緑のふるさと協力隊
川添 雄斗
こんにちは！最近、急に寒くなってきた夏はもう終わるのかなと肌で感じています。
網戸を全開にして寝ていたのも、朝はその寒さに起こされました。
8月はイベントに参加させていただくことが多く、沢山の方々と交流ができました。
色々な方とお話させていただく中で、アドバイスをいただいたことで、物事の考え方を1つではなく多角的に考えられるようになってきて、刺激の多い1カ月になったと思います。
人とのコミュニケーションをとるなかで大事なことの1つは、「聞く」ではなく「聴く」姿勢だと教えてもらいました。この人なら聞いてもらいたい、会話の



中では、相手からの色々な話を引き出せるのかでその先の話の濃さも、変わってくるのかなと思いました。話す力も大事ですが、私は聴く力の方が大事であるなど感じました。例えば議論の場においてそれは凄く感じている、一方通行の話し合いをするのではなく相手の意図をくみ取ったうえで批判ではなく、1つの意見として双方の話し合いができれば、お互いにとって良い効果があつて良い意見が出ると感じました。

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori09.jugem.jp/>

こちら「9代目緑のふるさと協力隊」